〔校内研修〕　目標の連鎖（学校目標・部署目標と個人目標）

　学校は法的な根拠のある組織集団で，学校設置，教育の目的，教育の目標も法的な根拠に基づいて機能するように位置付けられています。そのことから学校は自校の目標を明確にするとともに，部署や個人の目標がその学校目標と連鎖して一体的に機能することが求められています。

　⇒　育てたい生徒像を踏まえて，学校経営計画・教育活動計画等の全体計画・目標が実現できるように，部署の計画・目標を部署全員が参画して練り上げることを前提にして個人の目標を設定し，実践して評価することが大事になります。

◆　ミッション・ビジョンや育てたい生徒像の実現に向けて，本年度の学校経営

計画や教育計画に示してある目標の達成・実現に向けて，組織的に取り組むこ

とが基本である。

◆　目標の達成状況は，中間評価・年度末評価において自己評価と分析を行うと

ともに，外部評価を受けてその全体像を公表することが求められている。

⇒　経営計画・教育計画等の全体像・内容を把握しておくこと　⇒　別紙参照

**学校の**

**経営目標**

**教育目標**

◆　学校としての経営目標・教育目標を具現化するには，実働組織である

　学年・分掌・教科等の組織（チーム）が機能することが重要であり，その

　ための目標設定・手立て・評価基準等の相互連関が必要になる。

◆　前年度の主任等を中心に本年度の目標・計画は組み立てられているが，

　本年度の構成員全員が，主任を中心に協議して重ねて吟味し，練り上げて

おくことが，機能化のためには必須の要件である。

**学年・分掌**

**・教科等の**

**経営目標**

◆　学校の経営目標，部署の経営目標を前提とした目標設定とすることが

　大前提であり，その根拠の明確さが大事になる。根拠の明確さが自己評

価の明確さにつながる。

⇒　『学校経営目標と自己申告書目標設定の連鎖について』参照

**個人の目標**

◆　自己所申告書の個人の目標設定の項目（通常３項目を設定）が，学校の

目標・部署の目標のどの項目と連鎖しているかを明示すること。

◆　データを含む根拠の設定に考えを巡らせておくと，評価基準が設定しや

すく，結果として自己評価・他者説明もしやすくなる。

◆　客観的に検証可能な数値目標を設定することを優先する指導が行われた

状況もあり，数値目標を掲げることのみを優先する記入事例や通常努力で

の実現可能な回数実施を数値として掲げる記入事例も散見されるが，ただ

単に数値目標を掲げることが大事なのではなく，自分の直接的な営みとの

関係が明確で，達成意義が本人以外からも評価できるものにしておくこと

が求められる。

⇒　『個人目標設定用控えシート』の記入上の留意事項参照

**個人目標**

**設定用**

**控えシート**